

校内研究について

1. 研究テーマについて

本校では、「学びをつくり 高め合う 上作延の子」～「つなぐ」授業づくりを通して～を研究テーマとし、国語科の研究を続けてきました。

「学びをつくり 高め合う 上作延の子」は、私たちが学校として目指す児童の姿を意味している。「学びをつくる」とは、子どもたちが学習の中で、課題を自分事とし、自分の考えをしっかりと持って友達と交流し互いに学び合う姿を、「高め合う」とは、友達と交流することによって得た学びを自覚し、身に付けた力を様々な教科での学習や行事等に生かしていく姿を目指してきました。

川崎市学力状況調査の結果から、本校の児童の実態として知識・技能はあっても、それを活用して説明したり表現したりする力が弱いことが挙げられました。そこで、今年度は、国語科で身に付けた力を生かし、算数における考えを伝え合う力を伸ばしていきたいと考えました。そして、サブタイトルとして「思考力を伸ばす授業作り」としました。

2. 研究授業実績

学年	単元名	実施時期
5年	基石の数え方	6月28日
6年	円の面積	7月5日
4年	がい数	9月17日
2年	かけ算九九づくり	10月30日
3年	重さ	11月25日
さくら級	かけ算	12月19日
1年	どんなしきになるかな	2月6日

3. 研究の成果と課題

【成果】

- ・各学年が考える「思考力」を明確にし、そのための手立てを考えて授業を行うことができた。
- ・問題解決をする中で、今までの国語の研究で身に付けた力を使って対話をしたり、全体で考えの交流をしたりすることができた。相手の考えを知ること、自分の考えを広げたり深めたりする姿が見られた。



【課題】

- ・思考力を伸ばしていくために、学校全体で共通で取り組んでいくものを決めていきたい。
- ・子どもたちが思考錯誤しながら、問題解決に向かう課題を設定する。

